

形象の言葉／形象を見る—東と西

West-östliche(s) Bildsprache/Bildsehen

2010. 3. 21 日 13:00-18:30

入場無料
申込不要

会場：石川県西田幾多郎記念哲学館
石川県かほく市内日角井1 Tel:076-283-6600
<http://www.nishidatetsugakukan.org/>

司会・通訳：山口一郎 Ichiro Yamaguchi (東洋大学)

プログラム I (13:00 - 15:30)

トーク1. 小林信之 Nobuyuki Kobayashi (早稲田大学)

「かぎろひの立つ見えて—「いまここ」の知覚風景」

“.....ist der roten Sonne Glut (kagirohi) morgendlich emporsteigen zusehen - Zur Szene der Wahrnehmung 'jetzt und hier'”

トーク2. ゲオルク・シュテンガー Georg Stenger (ヴェルツブルク大学)

「形象の言葉—見ることの別の在り方か」

“Die Sprache des Bildes - Ein anderes Sehen?”

ディスカッション 小林信之 × ゲオルク・シュテンガー

コメント：ティルマン・ボルシェ、高橋輝暁

プログラム II (16:00 - 18:30)

トーク1. ティルマン・ボルシェ Tilman Borsche (ヒルデスハイム大学)

「概念を見る—直観における〈知ラザル何カ〉こそが思惟の源泉にして動機」

“Begriffe sehen. Das 'nescio quid' der Anschauung als Ursprungsort und Beweggrund des Denkens”

トーク2. 高橋輝暁 Teruaki Takahashi (立教大学)

「文字の形象性—洋の東西で比較対照する」

“Bildlichkeit der Schrift im kontrastiven Vergleich von Ost und West”

ディスカッション ティルマン・ボルシェ × 高橋輝暁

コメント：小林信之、ゲオルク・シュテンガー

2010. 3. 21 日 13:00-18:30

会場：石川県西田幾多郎記念哲学館

入場無料
申込不要

司会・通訳：山口一郎 Ichiro Yamaguchi (東洋大学)

プログラム I (13:00 - 15:30)

トーク 1. 小林信之 Nobuyuki Kobayashi (早稲田大学)

「かぎろひの立つ見えて—「いまここ」の知覚風景」

“.....ist der roten Sonne Glut (kagirohi) morgendlich emporsteigen zusehen - Zur Szene der Wahrnehmung 'jetzt und hier'”

トーク 2. ゲオルク・シュテンガー Georg Stenger (ヴュルツブルク大学)

「形象の言葉— 見ることの別の在り方か」

“Die Sprache des Bildes - Ein anderes Sehen?”

ディスカッション 小林信之 × ゲオルク・シュテンガー

コメント：ティルマン・ボルシェ、高橋輝暁

プログラム II (16:00 - 18:30)

トーク 1. ティルマン・ボルシェ Tilman Borsche (ヒルデスハイム大学)

「概念を見る— 直観における〈知ラレザル何カ〉こそが思惟の源泉にして動機」

“Begriffe sehen. Das 'nescio quid' der Anschauung als Ursprungsort und Beweggrund des Denkens”

トーク 2. 高橋輝暁 Teruaki Takahashi (立教大学)

「文字の形象性— 洋の東西で比較対照する」

“Bildlichkeit der Schrift im kontrastiven Vergleich von Ost und West”

ディスカッション ティルマン・ボルシェ × 高橋輝暁

コメント：小林信之、ゲオルク・シュテンガー

山口一郎 Ichiro Yamaguchi

1947年宮崎生まれ。上智大学大学院修士課程(哲学)修了。ドイツ・ミュンヘン大学で博士号を取得。ポツダム大学で哲学教授資格(ハビリタチオン)を取得。現在、東洋大学文学部教授。著書に『現象学とははじめ』、『文化を生きる身体』、『存在から生成へ』、『人を生かす倫理』等。翻訳にゲオルク・シュテンガー著「可視的なものの生成性」(『媒体性の現象学』)、B. ヴアルデンフェルス著『経験の裂け目』(監訳)等。

小林信之 Nobuyuki Kobayashi

1957年東京生まれ。京都大学大学院修士課程・博士課程、ドイツ・ヴッパータール大学で博士号を取得。京都市立芸術大学美術学部助教授等を経て、現在早稲田大学文学学術院教授。専門分野は美学(感性文化研究)、現代哲学。共単著に『西田哲学と美学的省察』、『Heidegger und die Kunst? im Zusammenhang mit dem Aesthetikverständnis in der japanischen Kultur (ハイデッガーと芸術)』等。

ゲオルク・シュテンガー Georg Stenger

1957年ドイツ生まれ。ヴュルツブルク大学で博士号・教授資格(ハビリタチオン)を取得。現在、ヴュルツブルク大学教授。インターカルチャー哲学会会長。独メスキルヒ市にて隔年開催のハイデッガーシンポジウム・コーディネーター。『ハイデッガー全集』(創文社)ドイツ側編者。著書『インターカルチャーの哲学。経験と諸世界。現象学研究として』等。

ティルマン・ボルシェ Tilman Borsche

1947年ドイツ生まれ。テュービンゲン大学で博士号、ボン大学で教授資格(ハビリタチオン)を取得。『一般哲学雑誌』の編者。現在ヒルデスハイム大学教授、同大学第2学群学部長。専門は哲学。著書『言語の風景—ヴィルヘルム・フォン・フンボルトの言語哲学における人間の言説という概念—』、『何かであるもの—プラトン、アウグスティヌス、クザヌスおよびニーチェにおける真理への問い—』等、最近の共編著書『思考は描けるか?—ルネサンスの哲学と絵画—』等。

高橋輝暁 Teruaki Takahashi

1947年東京生まれ。学習院大学大学院修士課程(ドイツ文学)修了。ドイツ・ヒルデスハイム大学にて博士号を取得。東京大学助教授等を経て、現在立教大学文学部ドイツ文学科教授、同大学副総長。この間テュービンゲン大学客員教授も務める。専門は主にドイツ近現代の文学と哲学。共単著『比較対照文化学への途上にある日本のゲルマニスティク』(ドイツ語)、『文学の基礎レッスン』、『文字性と図像性』等。

【会場・お問い合わせ】

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
<http://www.nishidatetsugakukan.org/>

